

# 「夢と絆」

## 蓮池 薫氏

新潟産業大学経済学部 准教授  
北朝鮮拉致被害者

実際に拉致にあった時の、生々しい状況…。  
24年もの間、北朝鮮で強いられた暮らしぶり…。  
楽しかったことや、生きがい、自由、すべて奪われた…。  
それでもなんとか言葉を覚え、  
一緒に拉致された彼女との再会を果たし、  
もう日本に戻れることは一生ないという絶望感の中でも、  
たくましく生き抜いてきた貴重な体験と  
拉致問題の経緯や現状をお話します。



### ろう重複障害者・ろうあ高齢者を支援する みんな来チャリティ公演 22

**内容** 記念講演 テーマ「夢と絆」 講師：蓮池薫氏  
吹田ろうあ太鼓「和龍耳」の和太鼓、おたのしみ福引大会など

**日時** 2018年 **11月25日** (日)  
13:00～16:00 (12:15受付開始)

**場所** **阿倍野区民センター 大ホール**

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋 4-19-118 ※公共交通機関にてお越しください。  
地下鉄谷町線「阿倍野」駅⑥号出口から南へ100m 阪堺電車上町線「阿倍野」駅から南へ180m  
地下鉄御堂筋線・JR「天王寺」駅、近鉄南大阪線「あべの橋」駅から南へ800m

**参加協力券** 大人 **2,000円** (当日2,500円)、小人 (小学生まで)・なかま・盲ろう者 **1,000円** (当日1,500円)  
※前売券が完売した場合、当日券はありません。 ※収益は、ろう重複障害者・ろうあ高齢者福祉の支援に役立てられます。

主催：社会福祉法人 大阪聴覚障害者福祉会・後援会

# 手話で築く豊かなくらし

大阪には、聴覚障害者のコミュニケーション(手話や身振りなど)を大切にした専門施設や相談機関がまだまだ不足しています。聴覚障害者の暮らしを支援し、聴覚障害者福祉の向上のためには、たくさんの賛同者が必要です。ぜひ後援会の活動にご協力ください。

「聞こえない」障害のほか、知的、視覚、精神、肢体などの障害のある「ろう重複障害者」が大阪府内には推定約600名以上おられます。「なかまの里」「あいらぶ工房」「北摂聴覚障害者センターほくほく」「ほくほく障害者作業所(堺市)」ができた今でも、手話や身振りで気持ちを伝えられない一般の知的障害者施設に入・通所したり、社会的な支援を利用できず在宅となって生活されているのが現状です。ろう重複障害者の暮らしを支える社会資源(施設や福祉サービス)はまだまだ足りません。

介護保険制度を利用しても、ろうあ高齢者のニーズに対応できる老人ホーム、在宅介護サービスは、「あすくの里」や「大阪ろうあ会館」の他にはほとんどありません。食事や入浴の介護が受けられても、コミュニケーションがとれないと、集団の中で孤立し、一人寂しい思いがますます大きくなってしまいます。中には体調を壊して利用を止めてしまう人、生きる意欲をなくす人もいます。

## 《次の目標は》

2020年4月、泉州聴覚障害者センター(仮)オープンを目指して取り組んでいます。  
ご協力をお願いします。

<こんな施設を支援しています>



なかまの里  
(1994年開所)



あすくの里  
(2005年開所)



あいらぶ工房  
(2007年開所)



北摂聴覚障害者センター  
ほくほく  
(2015年開所)



## 会場までの地図



## 阿倍野区民センター

545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋4-19-118  
地下鉄谷町線「阿倍野」駅⑥号出口から南へ100m  
阪堺電車上町線「阿倍野」駅から南へ180m  
地下鉄御堂筋線・JR「天王寺」駅、  
近鉄南大阪線「あべの橋」駅から南へ800m

お問い合わせ先・参加協力券申込先

## 社会福祉法人 大阪聴覚障害者福祉会・後援会事務局

〒583-0842 大阪府羽曳野市飛鳥1 1

TEL: 072-959-2324 FAX: 072-959-2632

Email: kouenkai@daichofuku.or.jp